昭和天皇のゆかりの地を訪ねて

昭和天皇の弟君、秩父宮殿下は「スポーツの宮様」としても国民に親しまれました。第二次世界大戦中は静岡県の御殿場御別邸で療養生活を過ごされ、戦後の昭和二十七（一九五二）年一月に藤沢市の鵠沼御別邸に移られましたが、翌二十八年一月四日、五十歳の若さで薨去されました。天皇は弟宮のお見舞いを強く望んでおられましたが間に合わず、「生前にひと目会いたかった」と侍従にもらされたそうです。天皇は明治三十四（一九〇一）年四月二十九日（現・昭和の日）、秩父宮は翌三十五年六月二十五日のご誕生とお年も近く、幼少時はご一緒に過ごされることも多かったため、弟宮は天皇を身近で支え続けられました。昭和天皇が弟宮を訪ねられた最期の地・鵠沼や秩父宮のゆかりの地を今回は紹介します。（青木利夫）

秩父宮の記念施設

昭和二十六、二十七年は日本と皇室にとっても特に記憶されるべき年でした。二十六年五月に天皇の母君・貞明皇后が崩御、九月には米国のサンフランシスコで対日講和条約が調印され、翌年四月には発効して「米国による占領時代」が終わりました。この年五月二日の第一回全国戦没者追悼式（新宿御苑で開催）に昭和天皇が臨席され、さらに十一月十日には皇太子明仁親王（今上天皇）の立太子礼も挙行されました。

哀しみと喜びの交差する時期でもありました。貞明皇后の崩御に御製三首があり、その一首は

池のべのかたしろ草を見るごとに　母のこころの思ひいでらる

―です。哀切溢れる情感。

この哀しみは、秩父宮に　この日の午前四時すぎ、宮様は亡くなられ、天皇皇后両陛下は枕辺で看取ることはできませんでした。

「天皇は、秩父宮の枕辺で一時間独り座り込んでいた。なにごとかを話すように口唇を動かしていた。天皇が病室から出てこられたときには、まぶたは泣きはらして腫れていた。帽子を手にうつむきかげんに帰りの自動車にのりこまれた」（保阪正康『昭和天皇』中央公論新社）。

秩父宮四十日祭の昭和天皇御製に

鉢の梅その香もきよくにほへども　わが弟のすがたは見えず

梅の香のごとき、弟君であったのでしょう。

その鵠沼御別邸は藤沢

法人・天理教神奈川台分　館と隣接しています。昭

教会の敷地になっていま　和二十九年に市立体育館

す。一般公開されていま　が建設される際、宮号が

せんが、少し小高い所に　冠されました。平成七～

秩父宮殿下が飼われていた緬羊をご覧になる天皇皇后両陛下（昭和24年４月５日）―共同通信社提供

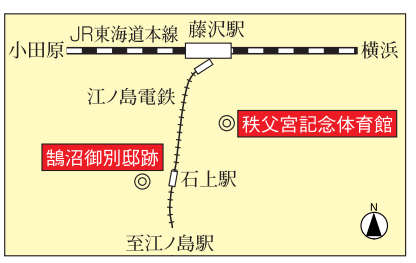
秩父宮殿下

秩父宮妃殿下

富士山を望まれる秩父宮殿下の銅像（朝倉文夫作）―秩父宮記念公園提供

弟宮はスポーツ界にもご功績

この藤沢市秩父宮記念体育館では、天皇皇后両陛下が昭和30年11月１日、第10回神奈川国体の剣道の試合をご観覧になりました



秩父宮ラグビー場の正面にある英文の記念表記と主将像―同場提供

秩父宮記念スポーツ博物館がある国立競技場では昭和39年10月10日、昭和天皇が東京オリンピックの開会を宣言されました―同博物館提供

樹高のある老松（黒松）数本が目立つ、緑が濃い場所です。

終焉の地・藤沢市には「秩父宮記念体育館」（同市鵠沼東）もあります。旧別邸から北東、藤沢駅から南東、徒歩十分くらいの至近。ここは境川の西、公園も多く、市民会

九年には大改築され、鉄　宮様はテニス、ヨット、筋五階、延べ一万平方㍍　スキー、登山などに親しの施設となりました。昭　まれ、英国留学中にはス和三十年、平成十年の神　イスのマッターホルンに奈川国民体育大会の会場　登山されたり、ラグビーにもなったほどですが、　も観戦されたりしました。市民の健康増進の場でも　そのスポーツ愛好を記念した、よく知られる

近くの明治神宮外苑の　陛下、宮様はお年が近く東京オリンピック（昭和　（高松宮明治三十八年、三十九年）主会場・国立　三笠宮大正四年ご誕生）、競技場内には「秩父宮記　幼少時は共に養育され、念スポーツ博物館・図書　沼津御用邸（静岡県）で館」（新宿区霞ヶ丘町）　過ごされました。このこがあります。日本のスポ　ろのご兄弟の写真も残さーツ史を一覧でき、図書　れています。宮様は学習館には専門書をはじめ雑　院、陸軍士官学校で学び、誌なども所蔵され、情報　軍務に入られ、大正十一の宝庫でもあります。　（一九二二）年に宮号を授

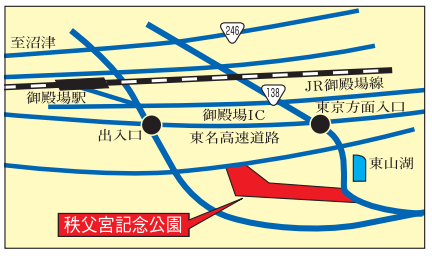
◇　けられ秩父宮におなりになりました。昭和三（一九二八）年に勢津子妃（会津・松平家ご出身）とご成婚。妃殿下は学習院時代、何度も避暑で御殿場を訪れておられたので、ご縁が深い土地でした。

秩父宮は軍務や二・二六事件などの昭和初期の激動に体調を崩され、同十五（一九四〇）年、肺結核と診断され箱根、葉山御別邸などを経て翌十六年九月に御殿場御別邸に移られました。以後、前述の藤沢の御別邸に移られるまでをこの地で、富士山を間近に見て過ごされました。戦時中であり、広大な邸内では畑が耕され、牧畜も営まれました。そのころの、秩父宮にはご自身の境遇を表された御歌があります。

まよわじと誓いし心ゆるぐなり　起きあがる日のあてもなければ

勢津子妃は同十四年五月から結核予防会総裁も務められ、平成八（一九九六）年に秩父宮家から御別邸が御殿場市に遺贈されました。お住まいの二階建て洋館はじめ木立、バラなどが咲く庭園、農園などが整備され、遊歩コースも設けられて平成十五（二〇〇三）年四月に「秩父宮記念公園」として公開されました。霊峰を望む、宮家の戦中生活が偲ばれます。

この地からＪＲ御殿場線で四十分ほど行くと終着・沼津駅。そこには、幼少期を昭和天皇と共に過ごされた旧沼津御用邸（沼津御用邸記念公園）があります。遠いようで、近い関係のお二人でもありました。



●藤沢市秩父宮記念体育館＝藤沢市鵠沼東８の２　☎０４６６・２２・５３３５（㈶藤沢市スポーツ振興財団が管理）

●秩父宮ラグビー場＝東京都港区北青山２の８の３５　☎０３・３４０１・３８８１（独立行政法人日本スポーツ振興センターが管理）

●秩父宮記念スポーツ博物館・図書館＝新宿区霞ヶ丘町10の２　☎０３・３４０３・１１５９（同）

●秩父宮記念公園＝御殿場市東田中１５０７の７　☎０５５０・８２・５１１０（㈶御殿場市振興公社が管理）

【注】四施設のほかに秩父市の秩父宮記念市民会館などがあります。